

# のぞみ

Hospital public information magazine

January 2022

Vol.07

## うちの病棟



療養病棟の看護師と看護補助  
障害者病棟の呼吸器入浴  
定期コーナー 療養病棟作品





「一緒に色紙ちぎってくれる？」



# 療養病棟作品



「お正月だから、富士山の切り絵作ろう」



小さなことにも気付ける看護を目指して

「日々の業務は忙しくて大変。でも患者さんと過ごす時間がとても大切。」

「うちの親も看護師でした。だから人の役に立てる仕事がしたい。」



# QUALITY OF LIFE



各病棟で思い思いの工夫で

Xmas

を演じました



## 外来診療予定カレンダー

1

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

January

■ 午後休診 ■ 休診

2

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

February

3

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

March



〒029-4201  
岩手県奥州市前沢古城丑沢上野100  
TEL 0197-56-6111

直通FAX 0197-56-6125  
火曜日～土曜日 8:30～17:00  
日曜日 8:30～12:30

# 看護補助

8:30 出勤 申し送り

8:40 オムツ交換と清拭  
体位変換

9:00 メッセージ業務

伝票、検体や検査結果や書類、薬剤を運ぶ仕事です。必要な場所に必要なものを届ける病院業務に欠かせない仕事です。

10:00 経管栄養前水準備

自分の口から食事をとれなくなった患者さんにチューブを通して栄養を胃まで届けます。栄養を注入する前に胃の動きを良くするために水を注入する準備をします。

10:30 配茶

食事前になると栄養科からお茶が届きます。患者さんのお部屋を周り、お茶を入れていきます。時間の許す範囲内ではありますが、患者さんとお話していきます。

11:00 メッセージ業務

12:00 食事介助と下膳

12:30 休憩

13:30 カンファレンス

14:00 メッセージ業務

15:00 オムツ交換、体位変換

16:30 配茶

17:00 メッセージ業務

17:15 退勤

「今日、私モデルなんだよー」  
「緊張するよー」



「お茶だよー」  
「外は雪で真っ白だよー」



検査、手術が必要な患者さん、肺炎、感染症など集中的に治療が必須な時期から症状が安定してきた患者さん達に手厚いケアを提供します。

スタッフが協力をし、日々安心安全な療養を目指しています。

私達が働く療養病棟では床ずれの予防や寝たきりによる引き起この予防や寝たきりによる引き起この予防、体重減少、尿路結石、鬱等）の栓、体重減少、尿路結石、鬱等）の予防、ケアを中心におこなって

「撮影してるからかな？いつもよりおいしい、おいしいって言ってくれるね」



「患者さん、ご家族とのコミュニケーションは欠かせません」

# 看護師

## 1DAY SCHEDULE

8:30 出勤 申し送り

8:40 オムツ交換と清拭

オムツ交換し、蒸しタオルで身体を拭きます。

9:30 バイタルサインチェック  
点滴施行

「脈拍」「呼吸」「体温」「血圧」「意識レベル」の確認をし、カルテに入力。

患者さんとの会話のやり取りから想いや訴えを聞き逃さず、表情からも読み取ってケアに活かします。

11:00 血糖測定

12:00 食事介助と下膳

食事の時間を楽しく過ごせるように会話をしながら対応しています。介助が必要な患者さんには体勢を整え、トロミ剤を使用してもせないように気をつけています。

12:30 休憩

13:30 カンファレンス

患者さんの診療、ケアの方針を共有するための話し合いを毎日行います。

14:00 再検

バイタルサインを再度、有症時は確認します。

15:00 オムツ交換

16:00 点滴施行 吸引

16:30 夜勤者への申し送り

17:00 電子カルテに入力

17:15 退勤



「バイタルチェックよし！」



「ここも撮るの…」

※個人情報・写真について、本人の同意を得て使用しています。

感染症… 床ずれ…

# 患者さんを守る 障害者病棟の呼吸器入浴

## 入浴前

1. 入浴の可否を担当看護師に確認

2. 入浴の準備

「今からお風呂だよ。ちょっと揺れるねー」

**POINT** 感染症や床ずれの有無で順番を決め、痰の多い患者さんは先に吸引をします

3. 搬送用の呼吸器への切替

4. 患者さんに声掛けをし搬送

5. 介助者3名で移乗用スライダーストレッチャーに移乗



## 入浴中

1. 患者さんの状態を見ながら入浴

2. 気管切開部にタオルを当てて水に濡れないようにする

**POINT** 首回りは手を滑り込ませながら洗い流し、タオルで拭き取ります

3. お湯の温度を確認し、足元から全身全身を洗う

4. 入浴中にシーツ交換、新しいオムツの準備をおこなう



## 入浴後

1. 人工呼吸器の動作確認

「さっぱりしてきて、イケメンになったねー」

2. 搬送用呼吸器からフィルターを外し接続部をアルコール消毒、人工呼吸器の回路に戻します (右図参照)

3. 看護師2名で人工呼吸器の読み合わせを行い、患者さんに正しく人工呼吸が行われているか確認し接続する



看護師が主に人工呼吸器の管理を行い、看護補助が入浴介助を行います。特に人工呼吸器装着中の患者さんには、動脈血酸素飽和度と脈拍を機械で測定する等、安全に留意しています。入浴の効果によって、患者さんの変化を感じます。寝てばかりだと全ての臓器や機能も寝てしまいがちですが、血流が良くなると細胞も活性化します。問いかけ等、あまり反応のない患者さんがお風呂からあがると笑顔が見られたり、私達職員の癒やしにもなります。